

2月6日

ミャンマー

世界社会奉仕活動報告

# 八潮みらいロータリークラブ ミャンマー世界社会奉仕活動報告

期間 2014年1月22日(水曜日)～26日(日曜日)

参加者

伊藤 祐嗣(会長) 宮内 弘好(国際奉仕委員長) 雨甲斐 隆(ロータリーの友委員長)

平良 嘉浩(会長エレクト) 大島 勝(次年度ガバナー補佐) 金杉 光左生(社会奉仕委員長) 本多 重康(R情報委員長)

訪問目的

- 1) ヤンゴン郊外にある DARPAIN VILLAGE の PADANUK MAING (パダンニャン)寺子屋学校への文房具(スケッチブック、色鉛筆、マーカー、ボールペン、鉛筆削り等)と歯磨き用品(歯ブラシ、歯磨き粉) 150名～180名分を寄贈



- 2) ヤンゴン歯科大学 (YANGON UNIVERSITY OF DENTAL MEDECINE) 訪問

伊藤会長の母校東京医科歯科大学と拠点校提携にあるヤンゴン医科大学へ歯科医療機器贈呈



- 3) ヤンゴン医科大学主催晩餐会

4) 日本人墓地参拝 お酒と線香を持参し第2次大戦中ビルマ戦線で3万人以上が戦死した霊を祭る墓地を訪問

- 5) シェッタゴンバゴダ、市内市場見

結果

- 1) 1月23日、大勢の小学生が「こんにちわ、こんにちは」と出迎えてくれました。

寄贈品を配布する前、歯磨きの習慣が大切であることを話、歯と歯ブラシの模型を使い歯ブラシの上手な使い方を生徒に説明しました。

2009年、2014年1月19日に船橋東RCが訪問していることが判明。



無料で寺子屋を運営しているソデガヨウ寺で檀家の方々の心を込めた昼食の接待を受ける。



2) ミャンマー歯科医師の総会に合わせての訪問で、医療機器贈呈に対し八潮みらいRC参加 全員に記念の楯が大学側から贈呈されました。



3) 我々を含め40～50名の関係者が晩餐会に招待され、美味しい料理とお酒をいただきました。尚、学部長の長男のモー君は現在御茶ノ水にある東京医科歯科大学に在学中です。



- 4) 1月24日、市内から車で約2時間のところに墓地がありました。現地の墓場の隣にある立派墓地(約500坪)で墓守の女性が2名いました。植木や芝の手入れも行き届いていました。記帳ノートには前日JTBの旅行で来た日本人の4名の名前がありました。墓守の女性が線香に火を灯し我々に手渡してくれました。八潮から持参したお酒と線香を手向けました。



- 5) シェッタゴンバゴダは筆紙に語る事が出来ない壮大で美しい寺院でした。1)のソデガヨウ寺でもそうでしたが、寺院に入る前には靴も靴下も脱ぎ裸足で歩かなければなりません。年月日ではなく生まれた曜日ごとに参拝場所があり自分が何曜日に生まれたのか確認する必要がありました。

市内市場は大勢の人で混んでいました。観光客への積極的なセールスは見られませんでした。幼い子供数人が日本語で「社長、会長、課長…」と絵葉書を売る光景が見られました。

雨甲斐会員が少し食あたりになった程度で、全員無事世界社会奉仕活動を終えることができました。

「百聞は一見にしかず」で直接現地の空気に触れないと理解できないこともあります。伊藤会長と宮内国際奉仕委員長との企画で今回訪問することが出来て八潮みらいロータリークラブの歴史に残る活動になりました。

Thein Tyu ヤンゴン歯科大学学長を始め、教官の方々、特にマレーシア国際医科大学生理学教室助教授の Ni Ni Win 先生には毎日通訳ガイド役をしていただき感謝する次第です。また、寺子屋他同行された東京医科歯科大学の深山教授、国立長寿医療研究センターの角博士にも感謝する次第です。八潮みらいRC会員の全面的な協力は勿論の事。

本多重康 記

